

企画山行報告（冬山合宿）

○南アルプス 甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳

（報告者：Y. I）

12/28～30 メンバー：I,F,H

12/27

夜 10 時過ぎに登戸に 4 人集合して車で出発。北アルプスの天候が悪そうなので行先の変更を車内で決める。

高遠の道の駅でテントを張り眠る。

12/28

6 時に起床して戸台に向かう。計画書を出して出発する。途中 2ヶ所渡渉して 2 時間程で角兵衛沢出合に着く。丹溪山荘から雪が少し出てくる。北沢峠を越えてテント場に着く。小屋に人がいたがまだ営業してなく明日からの事。

テントを建てて仙水峠までトレースをつけに出発する。雪が膝ぐらいまでありなかなか進まない。

ルートもテープが見つからず苦労した。なんとか暗くなる前に仙水小屋に着きここで引き返す事にした。

<コースタイム>

戸台 7：40～角兵衛沢出合 9：30—北沢駒仙小屋 12：30～14：00—仙水小屋 15：30—北沢駒仙小屋 16：00

12/29

朝 3 時半起きでワカンを付けて 5 時半に出発。昨日のトレースのおかげですぐに仙水小屋に着く。ここからまたラッセルになる。樹林帯をぬけて右に曲がると仙水峠に出た。駒津峰の急登を 1 ピッチ登ると単独の登山者が 2 人登って来る。その内の 1 名が先頭に出てくれるがすぐ追いついてしまい代わる事に。

駒津峰から風が出てくる。六方石に下る途中、風が避けられる所でアイゼンを付ける。直登ルートに入ると天候が悪くなってくる。悪い予感がしたが先を進む事にする。

雪が多いせいか以前来た時より岩稜の通過が難しい。岩稜が終わり風雪が強まる中、右に曲がると雪の飛んだ砂地の登山道らしき道に出る。ところどころ道らしい所をひろって行くと頂上に出た。



甲斐駒の頂上で、3人揃って

4 人で写真を撮っていると後から登ってきた単独の登山者がラッセルのお礼を言って下って行った。

あと 2 人いた登山者は諦めたようだ。下山してすぐに道が分からなくなり、すぐに頂上に降り下山道を確認した。途中迷い、もとに戻ったりしながら岩稜に出た。

風が避けられる所でホッとして足元を見ると、左足のアイゼンが無い。すぐに強風の中を戻って登って行くと 200m 位上部でアイゼンを見つけることができた。風の中で付ける余裕が無いので手に持って戻って来た。

岩稜直登ルートを下り駒津峰に出ると体がもっていかれそうになる。ハイマツ帯に入りホッとした。仙水峠から暗くなりヘッドランプをつけてテントに戻る。テントに S さんと K 君が待っていてくれて、K 君の持ってきたケーキで楽しく宴会をした。

<コースタイム>

北沢駒仙小屋 5：30—仙水小屋 6：16—仙水峠 7：13—駒津峰 10：03—甲斐駒ヶ岳 12：42—北沢駒仙小屋 17：30

12/30

今日も 3 時半起きで 5 時過ぎに出発。6 人で仙丈ヶ岳に向かう。1 ピッチ登った辺りで本多さんが昨日の疲れからか下る事に。樹林帯を抜けると風が強くなる。ただ天気は良く視界もきいて眺めが良い。いくつかのピークを越えて頂上に着いた。寒いのですぐ下り 2 ピッチでテント場に戻る。

明日の天候が悪そうなので後発隊の 2 人が甲斐駒ヶ岳に 13 時頃から向かう事に。

テントを撤収して下山しようとしたらなぜかK君のピッケルが出てきた。置いていったのか忘れたのか謎のまま下ることに。

途中凍った道で足を踏ん張ると右足小指にできた靴ずれが痛む。長い河原の道をびっこを引きながら歩く私の前を若者2人は力強く歩いていた。

とても頼もしく思った。

<コースタイム>

北沢駒仙小屋 5:20—仙丈ヶ岳 9:00—北沢駒仙小屋 12:30—13:00—戸台 17:00

○冬山合宿・伯耆大山、上蒜山（かみひるぜん） （報告者：Y.T）

12/29～1/1 メンバー：F、O、Y、Y、F

12/30 伯耆大山

<コースタイム>

キャンプ場 7:05—大山登山口 7:10—6合目避難小屋 9:07—9:30—伯耆大山 10:30—11:10—元谷避難小屋前 12:45—13:00—大山寺郵便局付近 14:00



伯耆大山のピーク、後方霞んでいるのは剣ヶ峰方面



伯耆大山のピークにて



上蒜山も無事登頂、他の登山者はゼロ